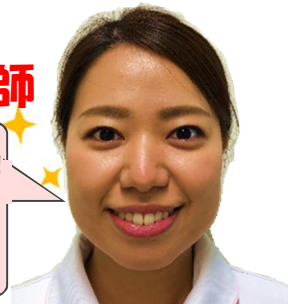


★今月のテーマ★

嚥下障害対策チームの摂食嚥下障害看護認定看護師

こんにちは！嚥下障害対策チーム 摂食嚥下障害看護認定看護師の山崎と清水です！
今月は私たちがチーム内でどのような役割を担っているのかを紹介したいと思います！
摂食嚥下分野の認定看護師になるための道のりについても紹介したいと思いますので、
興味のある方はぜひ参考にいただければと思います★



山崎さん・清水さんに聞いてみました！

①摂食嚥下障害CNとは・・・



- 摂食嚥下障害患者に対して、フィジカル・アセスメント、摂食嚥下機能評価を行い、適切なケアを選択し実施する。
- 摂食嚥下障害患者に伴う看護ケアについて、スタッフの相談にのる。
- ケアについて患者、家族に指導を行う。
- チーム医療の一員として他職種と協力し、摂食嚥下リハビリテーションを推進する。



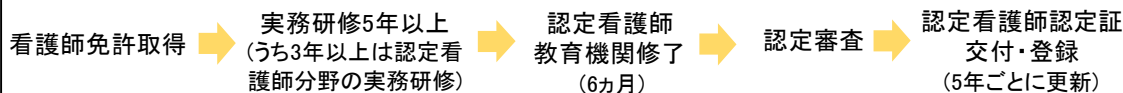
入院中に摂食嚥下でお困りの際は、お気軽にお問い合わせください！



②当院における役割について

- 実践**
 - 各病棟の患者の嚥下障害の特徴を捉え、評価方法や訓練方法、食事形態の選択を考える。
 - 嚥下障害リスク患者を感知・把握し、誤嚥・窒息予防に努める。
 - 医師の治療方針の確認、患者の生活背景を考慮した嚥下訓練の進め方を考える。
- 指導**
 - スタッフの立場に合わせて指導方法を考え、統一した介入ができるようにする。
 - 各病棟の嚥下に関する知識獲得状況を把握し、病棟に応じた指導方法を選択する。
 - 指示を出す医師に対し、患者の嚥下障害の状態を把握してもらい、安全に経口摂取が継続できるようにする。
- 相談**
 - 患者の嚥下障害の特徴を交えて根拠を持つ的確に返答をする。
 - 相談内容の問題を明確化し、問題に対し適切にスタッフが取り組めるよう支援する。

③摂食嚥下分野の認定看護師になるための道のり



決して楽とは言えない研修でしたが・・・
同じ思いを抱いた仲間達と出会い、同じ目標に向かって過ごした6か月間は、
摂食嚥下に関する知識や技術を身に付けた自分をつくりあげていました！



石井薬局より今月のお薬情報

今月のお薬情報は・・・

嚥下機能を改善する作用が期待できるとされている

ACE阻害薬についてのご紹介です！



石井薬局

アンギオテンシン変換酵素阻害薬(ACE阻害薬)
→エナラプリル、ペリンドプリルなど

服用すると、咽頭のサブスタンスPが分解されず蓄積し、濃度が上昇する。
その結果、嚥下反射や咳嗽反射が改善されると考えられています！

そのため、ACE阻害薬の副作用の一つに「空咳」がありますが、空咳の発症機序の一つにサブスタンスPが関わっていると言われています。

サブスタンスPとは・・・

ドパミンに誘導され、咽頭に放出される神経伝達物質の一つです。
誤嚥した時に咳嗽反射が生じるには、咽頭のサブスタンスPの濃度がポイントです。咽頭のサブスタンスPの濃度が低いと嚥下反射や咳嗽反射の低下により、誤嚥や嚥下障害をきたすと考えられています。

編集後記

山崎認定看護師とは、思い起こせば、2005年、私が東邦大学に着任し、今はなき1号館3階病棟からのつながりで、認定看護師過程という、長くて大変な研修と試験に臨むことになったのは、とても感慨深いものがあります。そして、清水認定看護師は、その後について認定取得を目指して実現するという伝統を作ってくれて、この後もこの流れを断ち切らないよう、看護師の皆さんには認定取得を目指してほしいものです。そして、せっかく取得した摂食嚥下看護認定看護師という専門性の高い存在を、繁忙な日常業務によって失ってしまわないように、嚥下チームのメンバーをはじめとして、みんなで協力し合っていかなければならないと感じています。また、活動する環境についてもまだまだ改善していきたいと思っていますので、ご支援をよろしくお願いいたします。



栄養治療センター副部長・嚥下障害対策チーム担当
関谷 秀樹